

・・・ 編 集 後 記 ・・・

本誌「臨床検査学教育」は2009年3月1日より発刊が始まり、初代編集委員長の岩谷良則先生(大阪大学)のご尽力により投稿規定や編集方針等の基礎が築られました。その後、その重責は二代目編集委員長の森山隆則先生(北海道大学)に引き継がれ、学会の“顔”としての役割を着実に果たしてきました。2013年、戸塚実 新理事長(東京医科歯科大学)のもと、日本臨床検査学教育協議会が改組され、それに伴い私が三代目の編集委員長を務めることとなりました。編集委員会としての活動方針や編集方法の一部変更、今後の活動方針については、本号の「委員会・部会報告」に詳しく記載しているのので、そちらをご覧ください。

私は国内外の雑誌の査読者としての経験は“そこそこ”ある方だと思っていますが、編集に関しては正直全くの素人といわざるを得ません。ただ素人なりに、本誌が日本臨床検査学教育学会の機関誌であることを考えると、会員の皆様がどのような情報を求めておられかを常に意識し、それに呼応することができる情報発信媒体となるよう浅学菲才ながら尽力していきたいと考えています。それには、編集委員会委員の先生方の力を結集することも必要ですし、会員の皆様方からの積極的な投稿も不可欠といえます。

私達、新編集委員会にとっての初仕事となった第5巻2号は、新理事長の戸塚実先生による所信表明を

冒頭に配し、第8回日本臨床検査学教育学会学術大会教員研修会の講演とシンポジウムを軸として、総説(シリーズ：教育現場における健康管理)や原著、報告、新たに協議会に入会された新設教育施設を中心とした学校紹介で構成しました。さらに、協議会の改組にあたり各種委員会委員長ならびに部会長が一新されたことを受けて、会員の皆様に委員会ならびに部会の役割や具体的業務、今後の活動方針についてご理解いただくために、全委員長と部会長に所信表明的な原稿の執筆をお願いしました。まずは、この原稿依頼に対し、ご快諾いただいた先生方に感謝いたします。この協議会ならびに本誌が、会員校からの会費で成り立っていることを考えれば、今回の新理事長による所信表明と「委員会・部会報告」は、今後の本協議会の活動指針の基礎をなす非常に重要な情報と考えています。更に、今年度の第8回学術大会(岩谷良則大会長)において、「科目別分科会」の第1回例会が開催されました。この分科会は本学会が活動していくうえで重要な組織体となるものと考えています。その基本活動方針を会員の皆様にご理解いただくため、今回の例会で議論された内容を本号に議事録として掲載いたしました。

今後、本誌がより質の高い学術誌として成長するためにも、会員の皆様方からのご支援、ご協力をお願いいたします。

(平成25年9月1日 編集委員長 奥宮敏可)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部

編集委員会(平成25・26年度)

委員長：奥宮敏可(熊本大学)、副委員長：渡邊幹夫(大阪大学)、委員：井上聡子(東洋公衆衛生学院)、
今井 正(香川県立保健医療大学)、高岡榮二(高知学園短期大学)、山内一由(筑波大学)

臨床検査学教育 第5巻第2号

平成25年9月1日 発行

発行人：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会
理事長 戸塚 実
〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科
生体検査学専攻内
Tel. 080-8914-3214
e-mail : nichirinky@toyo-college.jp
http://www.nitirinky.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org
制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0004 東京都中央区入船3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770
広告取扱社：(株)東広社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-3-8
Tel. 03-3409-8803